うつくしま

ゆめだより

News of Fukushima
2010/July No.226

平成22年
7月
1日
No.226

特集❶ 地域産業の6次化

特集❷ マンガでわかる子どもの携帯電話利用

福島県

地域産業の6次化

特集❶

県では、ふくしまの新しい「食」産業を創造するため、地域産業の6次化を推進しています。

地域産業の6次化とは

福島県が目指す地域産業の6次化とは、農林水産資源を基盤として、1次（生産）・2次（加工）・3次（サービス）の各産業分野が、それぞれの強みを生かしてお互いに連携・融合しながら、商品に新たな付加価値を加えて、農林漁業者の所得向上と、地域経済の活性化を目指すものです。

取り組みイメージ

6次化の必要性

多彩で高品質な本県の農林水産物は、生鮮物としての出荷が中心で、素材の魅力を十分に引き出した加工品はまだ少数です。さらに、加工は県外業者に依存する傾向が強いため、利益が県外に流出しています。市場を読んで新たなニーズをとらえながら、素材を生かした「売れる」加工商品を県内で開発し、全国的な競争力を高めれば、本県の「食」産業は大きく発展します。6次化できまざまな潜在能力が「融合」することで、大きな相乗効果が期待されるのです。

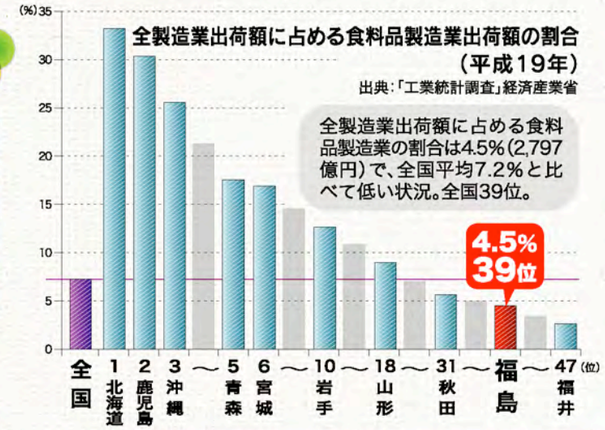
本県の人材・技術・文化・観光資源などを、豊かな農林水産資源に「融合」していけば、新商品開発や県産品のブランド力強化につながるほか、収穫体験やグリーン・ツーリズムなど「食」と観光を結びつけた取り組みが活発化するなど、地域が元気になっていきます。

今後の取り組み

県では、新たな地域産業の創出と地域の活性化を目指す「ふくしま・地域産業6次化戦略」を策定。今年度から5年間で、1次・2次・3次産業が融合した、新しい「食」産業を創造していきます。

こうした「しごとづくり」のほかに、産業を支える人材の育成と確保をする「ひとづくり」や、仕事と人を結びつけるネットワークの強化である「きずなづくり」に取り組んでいきます。

次にさまざまな形で、既に地域産業の6次化を実践されている皆さんをご紹介します。



もくじ

- 特集❶ 地域産業の6次化 …… 3
- データでわかる がん検診受診状況 …… 6
- うつくしまの「チカラ」 …… 7
- 特集❷ マンガでわかる子どもの携帯電話利用 …… 8
- 地域ゆめ発信 …… 10
- おしらせ …… 12
- 読者からのおたより …… 13
- 施設のご案内 …… 15
- ゆめクイズ …… 16

うつくしま News of Fukushima
ゆめだより
平成22年 7月1日
No.226

広報ステーション

県政新聞広報

県政ほっとライン／福島民報・福島民友
◎ 6月27日（日）・8月29日（日）・9月26日（日）

県からのお知らせ／福島民報・福島民友
◎毎月第2・第4土曜日の翌日

県政テレビ番組

うつくしま情報局／福島テレビ（FTV）
◎毎週日曜日　9:45～10:00

おしえて! うつくしま／福島中央テレビ（FCT）
◎毎週日曜日　11:00～11:15

トピックスうつくしま／福島放送（KFB）
◎毎週土曜日　13:55～14:00

ウィークリーうつくしま／テレビユー福島（TUF）
◎毎週日曜日　11:40～11:45

県政ラジオ番組

知事室からこんにちは（うつくしまふるさとだより）**／ラジオ福島（rfc）**
◎毎月最終火曜日　12:30～12:45

ふくしまEVENING BREAK／ふくしまFM
◎毎週月～金曜日　17:30～17:35

Web広報誌やバックナンバー、番組の詳細などは福島県のホームページをご覧ください。
HP 広報ステーション　検索

夢つながる! 夢ひろがる!

ふくしまの元気なグループをご紹介

表紙の３人
- 左 浪江町 荒川 淳子さん（44歳）
- 中 浪江町 横山 香代子さん（61歳）
- 右 浪江町 阿部 祐美子さん（29歳）

きれいな花が咲くよう、1株1株のラベンダーに願いを込め、丁寧に植えています。

降り注ぐ太陽の日差し、吹き抜けていく浜風、真っすぐに延びる国道6号。浪江町高瀬地区の道路脇の花壇には、1200株ものラベンダーが植えられ、年3回咲く青い花が道行くドライバーや歩行者の目を楽しませています。

4年前からこの花壇を手入れしているのが「ラベンダー倶楽部」の皆さん。浪江町を中心に20代から70代までのメンバー約15人が集まり、ボランティア活動を行っています。また、収穫したラベンダーを利用し、クラフト教室や料理教室を開催するなど、ラベンダーのさまざまな魅力を通して地域の活性化に一役買っています。

代表の横山さんは「ラベンダー街道を広げ、青い空・海・花を体験できるブルーツーリズムを盛り上げていきたい」と意欲満々。設立当初から参加している荒川さんは「家族の理解と協力があってボランティアを続けています。多くの人と触れ合うのが楽しい」と語ります。2年目の阿部さんは「きれいな花が咲くよう、1株1株のラベンダーに願いを込めて、丁寧に植えています」とほほ笑みます。

晴れ渡る空の下、手入れに汗を流す皆さん。土にまみれ流した汗の分だけ、美しく咲き誇るラベンダー。すがすがしい香りを辺り一面に漂わせ、道行く人々の心を癒してくれます。

ラベンダー倶楽部の皆さん
●連絡先／浪江町大字権現堂字下統町4-7（横山）　☎0240（35）2940

伊達市

農家の挑戦！

農業生産法人　伊達水蜜園

桃、リンゴなど四季折々の果物を栽培している佐藤さん。食品会社いわきチョコレートと連携して、紅玉りんごを素材とした高級チョコを開発しました。

旬の限られた果物を通年で市場に供給し、福島を代表する逸品としてPRしたいと考えていた佐藤さん。県産素材にこだわった商品開発を模索していた食品会社と思いが一致し、この「紅玉林檎（りんご）チョコ」が生まれました。

佐藤さんが力を入れてきた「紅玉」は、主力品種の「ふじ」に比べて酸味が強く、菓子用の加工にも適していることが、連携の決め手となりました。

さとう ひろのぶ
佐藤 浩信さん

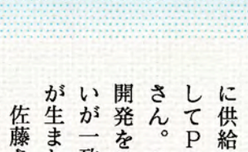
「これからの農家は1.5次産業を目指していく必要がある」と考える佐藤さんは、生産だけではなく一次加工も行います。加工による付加価値の向上は高い収益性につながります。

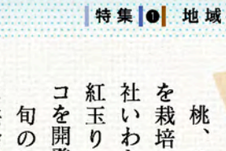
「連携で生まれるきずなによって可能性が広がっていく」と語る佐藤さん。新たな商品開発に向けた試みが続きます。

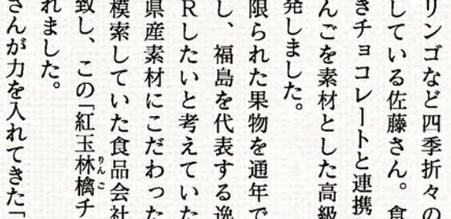
飯舘村

自然の恵みを生かす

自然食農家レストラン　なな色の空







食べ物を通じて自然と暮らしの関わりについて伝えたいと考えている調理師の村上日苗さんと自然にやさしい農業を目指してきた村上真平さん夫妻。「なな色の空」は、そんな二人の思いが結びついて生まれたお客さんとの交流の場です。

無農薬・無化学肥料で栽培した自家製の米や野菜にこだわり、肉や魚を使わない料理が特徴です。

県内の都市部や首都圏から訪れるお客さんの多くは、料理を楽しむだけではなく、周囲に広がる田畑や里山の景色を楽しみながら、のんびりと時間を過ごします。

「農」と「食」の結び付きが大事と考える二人。自家製の石窯を使った天然酵母パンづくりや農業体験、親子里山体験などのメニューを充実させて、暮らしそのものを体験する場にしていきたいと目を輝かせます。

むらかみ かなえ
村上 日苗さん

むらかみ しんぺい
村上 真平さん

会津若松市

生産者と市場を結ぶ

株式会社　会宝

浅漬けの原料野菜調達を行っている株式会社会宝。高品質な地場野菜を確保するため、農業技術の専門スタッフが地元生産者の下に足を運び、栽培方法や品質管理などについて綿密な打ち合わせを行っています。

生産者と市場を結ぶ仲介者としての役割を担っている会宝。専務取締役の阿部さんは「地域産業の6次化に必要なのは、適切なパートナーを選ぶこと。信頼関係の積み重ねが大事」と語ります。

会宝では、三島町の農業生産法人と共同で同町美坂高原の開発事業に参加し、白菜や赤カブなどを栽培。

また、これらの漬物などを福島県を代表する観光地大内宿で販売してもらい、県産農産物のPRにも努めています。

「6次化には、行政のバックアップも欠かせない」と語る阿部さん。ネットワークづくりや加工における技術支援などに期待を寄せています。

あべ たかじ
阿部 崇治さん

県産品加工支援センター

県では、地域産業の6次化を支援するため県産品加工支援センターを設置しました。

新たな県産品の開発や付加価値の高い加工商品の開発を支援します。

食品加工・農産物流通加工の専門職員が相談に応じますので、気軽にご利用ください。

問 県産品加工支援センター
企画支援チーム ☎0242(39)2974

三澤屋（下郷町）

ただうち とよじ
只浦 豊次さん

大内宿でそば屋を営む只浦さん。地元産の食材だけでは、旬の時期に十分な量を確保できず悩んでいました。そんな中、会宝を通じて知ったのが三島町の農産物。

生産地と観光地のこの結びつきは、奥会津のブランドイメージ向上にもつながっています。

小泉武夫さんインタビュー

ふくしまの食は「複雑でおいしい」

――ふくしまの食文化の特徴は？

福島県は、浜・中・会津と三つの県が一つになっているような珍しい県。地理的環境だけでなく、文化や食も違う。三つの食文化圏を持っているのはとても豊かなこと。会津は伝統食、浜通りは魚、中通りでは会津や浜通りの食文化を融合して、イカニンジンのような食が生まれている。

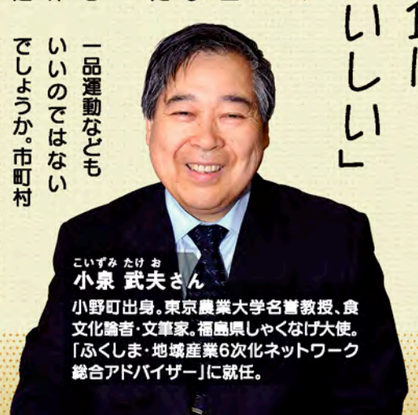
全国においしいところはたくさんあるけれど、「複雑でおいしい」のは福島県だけだと思います。

――6次化に向け、どのような取り組みをすればいいのでしょうか？

例えば、新しい形での一村一品運動などもいいのではないでしょうか。市町村単位で一つの企業体になる。農家は農家、加工は加工ではなく、異業種参入もしながら、みんなで食べ物を作って、加工して、そして売っていく。農産物に付加価値を持たせることが大事です。

――消費者はどうかかわっていけばいいのでしょうか？

地元の食がこんなに素晴らしいのだと話し合いながら食べること。また、子どもたちに土地のものを食べさせることで郷土愛が生まれます。地元の素材で食を作っていくことに誇りを感じる県民に一人一人なることが大切です。そうすれば素晴らしい豊かな県になるでしょう。



こいずみ たけお
小泉 武夫さん

小野町出身。東京農業大学名誉教授、食文化論者・文筆家。福島県しゃくなげ大使。「ふくしま・地域産業6次化ネットワーク総合アドバイザー」に就任。

“ごちそう”をもっと元気に

ふくしまが誇る「食」という宝を、多くの知恵を併せて磨いていくと、とても可能性が広がります。6次化で地域を元気にするには、生産・加工・サービスの融合だけではなく、消費の力も重要です。

私たち県民一人一人が、6次産業にさまざまな形でかかわることが大切です。

日ごろの買い物や「食」のイベントなどの中で、「6次化商品」に意識してかかわってみませんか。そして、ふくしまの“ごちそう”をもっと元気にしていきましょう。

「地域産業6次化キックオフイベント」

ごちそうふくしま満喫フェア
10月10日(日)・11日(祝)
ビッグパレットふくしま(郡山市南二丁目)

- ◆6次化加工食品の試食・販売
- ◆県内の名物料理・有名シェフの逸品料理
- ◆小泉武夫さんの「ごちそう講演」など盛りだくさん。

問 県庁農産物安全流通課 ☎024(521)7371

県産加工食品の応援を

福島県知事
佐藤 雄平

福島県の多彩で質の高い農林水産物は、日本の「食」を支える極めて重要な役割を担っています。

しかしながら、生産コストに見合った価格で取り引きされなかったり、規格外という理由で廃棄されたりするケースもあり、生産者の汗と努力が十分に報われるようにと感じていました。

そうした農林水産物の付加価値を高め、商品として広く流通するよう、今年度から地元企業の優れた技術を生かしたさまざまな取り組みを展開します。

ぜひ県民の皆さんにも、県産農林水産物を活用した商品の素晴らしさに触れて、食べていただくことで、元気な農林水産業と新しい地域産業の創出にご協力をお願いします。

データでわかる がん検診受診状況

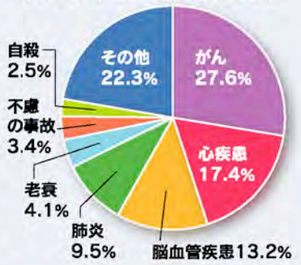
福島県の死因別死亡率(人口10万人対)の推移を見ると、昭和35年以降、がん、心疾患、脳血管疾患などのいわゆる生活習慣病が上位を占めています。中でもがんは、昭和59年に脳血管疾患を抜いて、死因の第1位となりました。その後も死亡率は上昇し続け、現在も本県における死因の第1位となっています。

がん検診受診率が50%以上になると、がんによる死亡率の減少に効果があるといわれています。しかし、県内市町村で実施されているがん検診受診率は、一部の地域では50%を上回っているものの、県全体でみるといずれの検診も、50%以下にとどまっています。

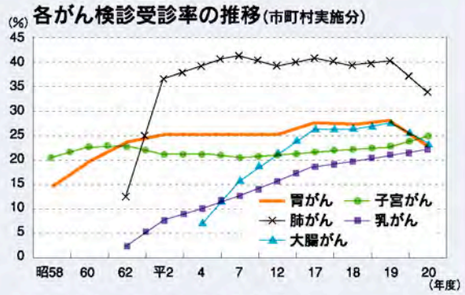
がんの早期発見のためには、定期的にがん検診を受診することが重要です。

〔出典:「保健統計の概況」県保健福祉総務課〕

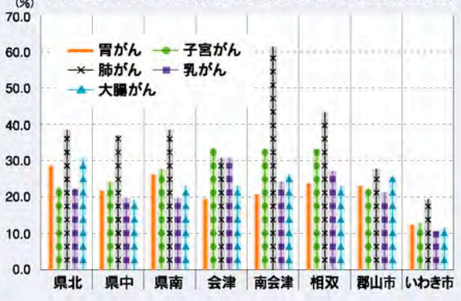
平成20年 主な死因の死亡率



各がん検診受診率の推移(市町村実施分)



平成20年度 地域別がん検診受診率(市町村実施分)

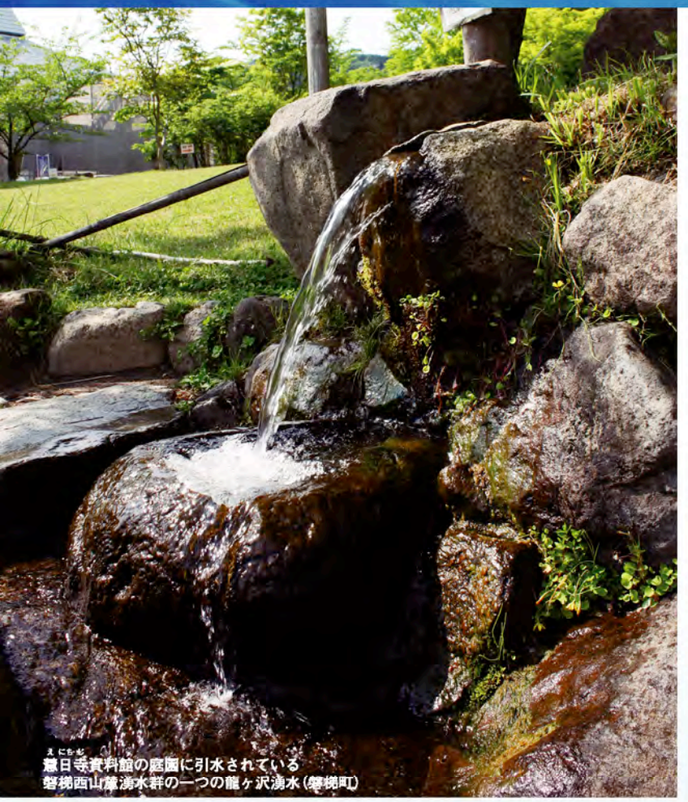


世界に誇れる水環境 源流県・ふくしま

生命の源泉である水は、今世紀最も大切な資源といわれています。

福島県には、雄大な猪苗代湖や大小さまざまな裏磐梯湖沼群、自然豊かな尾瀬、全国一級河川の水質ランキング1位の荒川など世界に誇れる水環境がたくさんあります。また、河川の水源のほとんどが県内にあるという源流県で、豊かな森林に育まれた、清らかな水資源に恵まれています。さらに、各地には先人たちが、水に親しみ、水を敬い、大事に使ってきた歴史の証しともいえる水文化が受け継がれています。

私たちにとって身近で当たり前にある「ふくしまの水」は、実は世界に誇れるかけがえのない宝物。この夏、ふくしまの水にかかわり、考え、見つめ直してみませんか?



慧日寺資料館(えにちじ)の庭園に引水されている
磐梯西山麓湧水群の一つの龍ヶ沢湧水(磐梯町)

猪苗代湖(猪苗代町)
猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品

阿武隈川源流(西郷村)

日本名水百選

- 磐梯西山麓湧水群(磐梯町)
- 小野川湧水(北塩原村)

平成の名水百選

- 荒川(福島市)
- 桝峰(ますみね)渓流水(喜多方市)
- 右近清水(新地町)

田子倉ダム(只見町)／豊かな水資源を利用した発電

只見町ブナセンター提供

只見のブナ林(只見町)／県土の7割を占める森林は、豊かな水の源

夏井川(いわき市)／流域団体が連携して環境保全などに取り組んでいる

募集 ふくしまの水文化再発見

水文化は、地域の姿を映し出す鏡。皆さんの身近にある水文化にかかる名称、場所、概要などの情報をお寄せください。地域の優れた水文化を“ふくしまの水文化”として選定します。

例祭り(雛流し、田植えまつりなど)、伝統工芸(和紙すき、染め物など)、歴史施設(水路、堰、水車など)、いわれのあるわき水、伝説など。

岡山の水かけまつり(福島市)

応 問 〒960-8670(住所記載不要) 県庁土地・水調整課 ☎024(521)7123 ファクス 024(521)7124
詳しくは… HP ふくしまの水に関する情報 検索 電子メール tochi_mizu@pref.fukushima.jp

特集❷

マンガでわかる 子どもの携帯電話利用

最近、携帯電話を利用する子どもが増えています。しかし使い方を間違えてトラブルに巻き込まれることも。どうすれば子どもを守れるの？そんな疑問に分かりやすくお答えします。

ふくしま博士に聞いてみよう!!

便利な携帯電話も使い方を間違えると、トラブルに巻き込まれたり危ない目にあったりするんだよ。その原因となる有害なサイトへのアクセスや掲示板などへの書き込みを「フィルタリング機能」で制限することで被害を未然に防ぐことができるんだ。子どもが利用する携帯電話は、原則としてフィルタリングサービスに加入することになっているんだよ。

子どもを守る3ヵ条

1 危険性を大人が教える
便利なだけじゃない携帯電話の危険性を、親がまずしっかり知っておくことが肝心です。

2 アクセス制限を大人が考える
子どもに見せたくない情報を制限する「フィルタリングサービス」で、トラブルを未然に回避できます。

3 使い方を家族で決める
難しいルールは必要ありません。携帯電話の使い方を普段から話し合う機会を持ちましょう。

家族みんなでルールづくりをしましょう。

※家族で決めた項目に✓チェックしましょう。

- ☑ 知らない人からのメールや電話は無視します。
- ☑ 決められたサイト以外は見ません。
- ☑ 個人情報は教えません。書き込みません。（住所・氏名・電話番号・パスワード）
- ☑ 悪口やウソなど「ネットいじめ」は絶対しません。
- ☑ インターネットで知り合った人には会いません。
- ☑ 食事中はメールをしません。
- ☑ 決められた時間以外は使いません。
- ☑ 困ったときはすぐに相談します。

まとめ

子どもに携帯電話を持たせることが本当に必要かどうか、まず話し合うことが大切なんだ。持たせる場合には、大切な子どもを守るためにフィルタリングサービスを活用し、使い方のルールやマナーについてよく家族で話し合おうね。

問 県庁青少年育成室　☎024(521)7187　HP 福島県　青少年育成室　検索

県内各地の主なイベント情報

7月

南会津町
会津田島祇園祭
期間 7月22日(木)～24日(土)
場所 町内田島地域
問 田島観光センター
☎0241(62)3000

相馬市 南相馬市
相馬野馬追
期間 7月23日(金)～25日(日)
場所 23日/三妙見神社・雲雀ヶ原祭場地、24日/雲雀ヶ原祭場地、25日/相馬小高神社
問 相馬野馬追執行委員会
☎0244(22)3064

楢葉町
楢葉町サマーフェスティバル2010
期日 7月31日(土)
場所 天神岬スポーツ公園
問 楢葉町商工観光課
☎0240(25)2111

8月

いわき市
いわき花火大会in小名浜港
期日 8月7日(土)※荒天時8日(日)に順延
場所 アクアマリンパーク(小名浜港1・2号ふ頭)
問 いわき花火大会実行委員会
☎0246(53)5677

金山町
沼沢湖水まつり
期間 8月7日(土)～8日(日)
場所 沼沢湖畔
問 金山町地域振興課
☎0241(54)5327

本宮市
本宮市夏まつり
期間 8月15日(日)～16日(月)
場所 市中心市街地・阿武隈川河畔、白沢イベント広場(15日のみ)
問 本宮市観光物産協会
☎0243(33)1111

須賀川市
第32回釈迦堂川全国花火大会
期日 8月21日(土)
場所 JR須賀川駅前河川敷
問 須賀川市観光交流課
☎0248(88)9144

9月

会津坂下町
ばんげ秋まつり
期間 9月18日(土)～19日(日)
場所 役場前メーンストリート
問 会津坂下町観光物産協会
☎0242(83)2111

喜多方市
きたかた喜楽里博
期間 9月18日(土)～11月20日(土)
場所 市内各地
問 喜多方観光協会
☎0241(24)5200

玉川村
びっくりかぼちゃ大会
期日 9月19日(日)
場所 福島空港公園
問 玉川村企画産業課
☎0247(57)4629

HP 福島県内の主な行事　検索

会津若松市

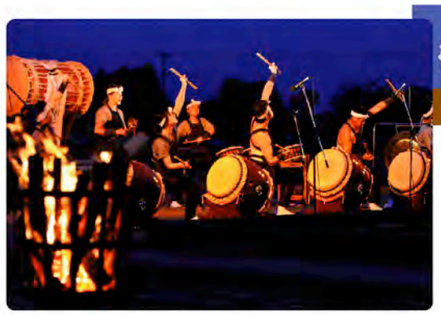
迫力ある時代絵巻「会津まつり」

9月22日(水)から24日(金)まで、鶴ケ城本丸や市内一円で「会津まつり」が開催されます。勇壮な武者姿や華やかな姫などに扮した皆さんが練り歩きます。

また、白虎隊慰霊祭や子どもたちによる、ちょうちん行列なども行われます。

時代絵巻さながらの祭りで、歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

問 会津若松市観光課　☎0242(39)1251



矢吹町

幻想的な太鼓の競演

7月31日(土)、大池公園で野外イベント「真夏の夜の鼓動」が開催されます。

水上ステージで演奏される力強い太鼓の響きと、大池に浮かぶ美しい灯ろうが、真夏の夜に音と光の幻想的なひとときを演出します。

ほかにも、よさこいや空手演舞など盛りだくさんのイベントです。

※雨天時は町文化センター

問 矢吹町生涯学習課　☎0248(42)2869

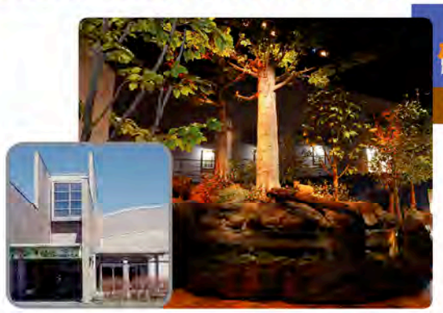
新地町

新地町海釣り公園

相馬港5号ふ頭にある「新地町海釣り公園」は、人気の釣りスポットです。サバやカンパチのほか、クロダイなどの高級魚もあがります。事前に電話で予約してください。

〔時間〕午前6時～午後6時
〔午前・午後半日分料金〕高校生以上千円／小中学生七百円(小学四年生以上)
※12～3月は時間・料金が異なります。

問 新地町海釣り公園　☎0244(62)5559



只見町

ただみ・ブナと川のミュージアム

只見のブナ林は、原生的で巨木が多く世界屈指といわれています。「ブナと川のミュージアム」では只見のブナやそこに生きる動植物を展示、解説しています。

只見の自然が体験できるミュージアムです。

〔入館料〕高校生以上三百円　小中学生　二百円
〔休館日〕火曜日(祝日の場合は翌日)

問 只見町ブナセンター　☎0241(72)8355

古殿町

道の駅ふるどの

国道349号沿いの生産物直売所「おふくろの駅」が「道の駅ふるどの」に生まれ変わりました。

新鮮な農産物のほか、町特産品のこんにゃく製品、県内産大豆を使ったみそなどを販売しています。

また、地元食材を豊富に使った食堂もあります。ぜひ、お立ち寄りください。

〔定休日〕毎週火曜日

問 道の駅ふるどの　☎0247(53)4070

富岡町

往年の名選手が大集合

7月25日(日)、町総合スポーツセンター野球場で、「宝くじスポーツフェアドリームベースボール」を開催します。プロ野球名球会やOBクラブの選手と町選抜チームとのドリームゲーム、村田兆治さんや東尾修さんらによる野球教室や金田正一さんの講演会など盛りだくさんです。

入場は無料ですが、整理券が必要です。

問 富岡町生涯学習課　☎0240(22)2626

ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。

ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。

募集 警察官・県職員・市町村立学校職員の採用候補者

採用候補者試験を次のとおり行います。

【警察官】

募集職種 警察官B（男性／一般、男性／柔道、男性／剣道、女性／一般）

受験資格 昭和52年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた人（大卒または卒業見込者は除く）

受付期間 7月16日（金）～8月13日（金）

第一次試験 9月19日（日）

【県職員・市町村立学校職員】

募集職種
- 県職員（資格免許職）司書
- 県職員（高校卒程度）行政事務、警察事務、土木
- 市町村立学校栄養職員
- 市町村立学校事務職員（高校卒程度）

受験資格 職種により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

受付期間 8月2日（月）～20日（金）

第一次試験 9月26日（日）

問 県人事委員会事務局 ☎024(521)7590

福島県人事委員会 検索

募集 うつくしま農林水産ファンクラブ会員

福島県の農林水産物や次世代に伝えたい食文化を広くPRしていただく「うつくしま農林水産ファンクラブ会員」を募集しています。会員には、各種イベントや旬の農林水産物の情報をお届けします。登録は無料です。

応募資格
- 県内に在住または通勤する18歳以上の人
- 県内に事業所のある団体

応募方法 県農林事務所に備え付けの申込書に必要事項を記入の上、最寄りの県農林事務所に郵送またはファクスでお送りください。申込書は、ホームページからも入手できます。

問 県庁農産物安全流通課 ☎024(521)7371

うつくしま農林水産ファンクラブ 検索

募集 統計グラフコンクール作品

統計に興味と親しみを持ち、その大切さを知っていただくため、統計グラフの作品を募集します。

対象 小学生以上

応募方法 小中学生および高校生は在学する各学校に提出してください。大学生・一般の人は、直接提出してください。詳しくはホームページをご覧になるか、お問い合わせください。

応募期限 9月3日（金）必着

応問 〒960-8670（住所記載不要）県庁統計分析課 ☎024(521)7143

ふくしま統計情報BOX 検索

昨年度　県知事賞（第1部）
矢吹町立三神小学校　諸根ほのかさん

募集 パソコン甲子園2010参加者

11月6日（土）、7日（日）に会津大学を会場として開催する、全国の高校生、高等専門学校生などを対象とした情報処理関係のコンクールの参加者を募集します。

募集部門	応募期限
プログラミング部門	7月30日（金）必着
デジタルコンテンツ部門	8月27日（金）必着
いちまいの絵CG部門	8月20日（金）必着

応募方法 募集部門により異なりますので、詳しくは、ホームページをご覧になるか、お問い合わせください。

問 会津大学内パソコン甲子園事務局 ☎0242(37)2532

パソコン甲子園2010 検索

案内 おもいやり駐車場利用制度

スーパーや病院、公共施設などの車いすマークが表示された駐車スペースを本当に必要としている人が利用できるよう「おもいやり駐車場利用制度」を実施しています。

この駐車スペースを利用するには、利用証の掲示が必要です。利用を希望する人は、利用証の申請をお願いします。

なお、この利用証は、道路上に設置された高齢運転者等専用駐車区間では使用できません。

利用対象者 歩行が困難な「障がい者、要介護高齢者、妊産婦」など

申請受付窓口 県庁高齢福祉課、県保健福祉事務所、いわき地方振興局、各市町村など

問 県庁高齢福祉課 ☎024(521)7197

福島県おもいやり駐車場 検索

案内 県内企業への就職を応援します

ふるさと福島就職情報センターでは、県内企業への就職を希望する人に、専門の相談員が就職相談や職業紹介など総合的なサービスを行っています。利用は無料です。気軽にご相談ください。

福島窓口
福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2階
☎024(525)0047
利用時間 午前10時～午後7時（日曜・祝日・12/29～1/3を除く）

東京窓口
東京都中央区銀座4-14-11 七十七ビル3階
☎03(3545)6140
利用時間 午前10時～午後6時（日曜・祝日・8/13～15・12/29～1/3を除く）

問 県庁雇用労政課 ☎024(521)7290

Fターン 検索

読者からのおたより

■表紙の3人の楽しくて仕方がないという顔を拝見し、私も何か挑戦してみようかと思いました。
（新地町・50代・女性）

■“ほっとする、ふくしま”という言葉が福島にぴったり合っていると思いました。みんなで頑張りましょう。
（須賀川市・40代・女性）

■県の予算などは今まであまり気にかけてきませんでしたが、読みやすく分かりやすい記事で理解できました。
（福島市・20代・女性）

■県債の推移を見て不安になりました。子どもに借金はさせたくないと夫と話しました。できることから県も無駄を省き、財政を立て直して欲しいです。
（福島市・50代・女性）

■マンガでわかるアクアマリンえっぐ。孫たちも理解でき、さっそく「行きたい！」と連発です。
（湯川村・50代・女性）

■東京に住むおいたちが、早速アクアマリンえっぐに行き、感動して帰ってきました。学習できる水族館は本当に素晴らしい。他県に誇れる施設です。
（いわき市・50代・女性）

■イベント情報を見て、ぜひ三島町に行きたいと思いました。カレンダーに丸を付け今から楽しみです。
（二本松市・60代・女性）

■他地域のイベント情報が具体的に載っているので、今度は妻とどこに行こうかと参考になります。
（伊達市・50代・男性）

■ファミたんカードの特典がたくさんあるのにはびっくりしました。今おなかに赤ちゃんがいるので、産まれたら使うのが楽しみです。
（郡山市・20代・女性）

■読みやすい誌面につい引き込まれて、ついたばかりの番茶を飲むのを忘れてしまいました。
（いわき市・70代・女性）

■初めての一人暮らしでポストに投函してあった「ゆめだより」を読んでみました。人のつながりなどが仕事以外でも実感できて新鮮な気持ちになりました。
（会津若松市・30代・男性）

■広～いと思う福島県も「ゆめだより」の情報で一つになれるからすてきですね。
（福島市・30代・女性）

10月1日（金） 国勢調査を実施します

国勢調査は5年に一度、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象とする重要な調査です。

調査票は、封入して提出します。

個人情報保護の観点から、今回の調査では、調査票を封筒に入れて提出する方法となりました。

調査票は、調査員に提出するほか、郵送でも提出することができます。

調査員に提出するか、郵送で提出するかを選択できます。

調査票の記入内容は、厳重に保護されます。

統計法では、調査関係者に対して、調査票の記入内容を外部に漏らすことを固く禁じていますので安心してください。

2010 国勢調査

詳しくは、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査e-ガイド」をご覧ください。

問 県庁統計調査課 ☎024(521)5592

HP ふくしま統計情報BOX 検索

HP 国勢調査e-ガイド 検索

おしらせ

催し　集まれっ！ハイテクプラザ2010

科学技術への理解を深め、ものづくりの楽しさを知ってもらうため、小中学生を対象としたイベント「集まれっ！ハイテクプラザ2010」を開催します。気軽にご参加ください。

内容 ワークショップ（科学の原理や不思議な科学現象の体験・学習、ものづくりの楽しさを体験する簡単な工作）、サイエンスショー（楽しく分かりやすい科学実験）、ハイテクプラザの研究成果や設備機器の展示・紹介

日時 8月7日（土）午前10時～午後3時

参加方法 当日自由参加（一部のワークショップは人数制限があります）

問 県ハイテクプラザ産学連携科 ☎024(959)1741

福島県ハイテクプラザ　検索

催し　福祉機器・用具の展示と点字体験

目の不自由な人、見えにくい人への理解を深めてもらうため、使いやすいように工夫された福祉機器や生活に便利な用具、音声パソコンの展示を行います。また、実際に点字を打つ体験も実施します。

入場は無料で事前申し込みは不要です。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

日時 7月25日（日）午前10時30分～午後3時30分

場所 コラッセふくしま3階会議室（福島市三河南町）

問 県点字図書館（月曜日、祝日は休館） ☎024(531)4950

福島県点字図書館　検索

催し　ふくしま文化元気 ルネサンスフェスタ

全国トップレベルにある県内の文化芸術活動を鑑賞できるフェスタを開催します。ふくしまの文化の力を再発見し、元気になれるフェスタです。入場は無料ですので、ぜひご来場ください。

内容 フラダンス、磐城高校と湯本高校による吹奏楽と演劇、石井の七福神と田植踊（二本松市）、喜多方の祭り囃子など

日時 9月19日（日）午後1時30分

場所 いわきアリオス（いわき市平）

問 県庁文化振興課 ☎024(521)7179

ふくしま ルネサンス　検索

福島県の映像文化をつくるための2つの大募集！

探しています！古いフィルム

ビデオが普及する昭和40年代以前のフィルムを探しています。家族団らんの姿や結婚式などのイベント、地域の行事などを撮影したものです。県内に残された映像を発掘・デジタル化して未来に残すとともに、編集した映像を公開する予定です。

募集対象

昭和40年代以前の8ミリフィルムなど（無償で借り受けるものとし、電子データ化後、返却します。）

問 県立博物館 ☎0242(28)6000

HP 福島県立博物館　検索

第2回ふくしま映画塾受講生募集

映画の作り方をゼロから学ぶ講座です。映画「春色のスープ」や「ホームレス中学生」のプロデューサー前田茂司さんを塾長に迎え、映画制作の第一線に立つ講師陣が丁寧に教えます。

- 対象　県民　募集人員は30人程度〈経験不問〉
- 開講期間　9月18日（土）～20日（祝）〈2泊3日〉
- 受講料　10,000円〈宿泊費別途〉
- 応募期限　7月30日（金）〈定員になり次第締め切り〉

問 県庁生涯学習課 ☎024(521)7784

HP 福島こどものみらい映画祭2010　検索

施設のご案内

福島県立博物館

会津若松市城東町1-25 ☎0242(28)6000

ふくしま森林文化企画展

森に生き山に遊ぶ！ —ふくしまの森林文化—

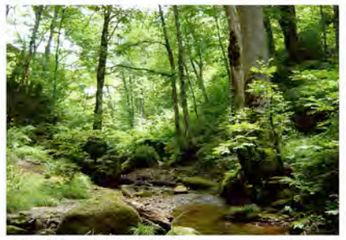
福島県の森はどれくらい広い？森での暮らしって？森と山について盛りだくさんの楽しい展覧会です。

◎開催期間：8月22日（日）まで

◎観覧料：無料

◎休館日：月曜日（7月19日は開館）、7月20日（火）

HP 福島県立博物館　検索


恵みの森のブナ林（只見町布沢）

ゼンマイ綿を使ったワンピース

一本の木から彫り出した仏像・金剛力士立像（福島市 大蔵寺）

県立博物館をはじめ次の各館で連携して、森林と人との関わりをテーマとした「ふくしま森林文化企画展」を開催しています。

- 県文化財センター白河館　まほろん
- 県文化センター・歴史資料館
- アクアマリンうおのぞき
- フォレストパークあだたら

コラッセふくしま

にぎわいイベント募集中！
福島市三河南町 ☎024(525)4098

会　期	イベント名
7月19日（祝）～25日（日）	第7回ふるさと日本画展
7月22日（木）～25日（日）	つるっと遊ぶⅢ　半澤敬子とその仲間達の作品展
9月5日（日）	民話まつり
9月19日（日）	ふれあい茶会
9月20日（祝）～26日（日）	福島県篆刻会展

HP コラッセふくしま　検索

福島県文化センター

福島市春日町 ☎024(534)9191

会　期	イベント名
7月24日（土）	第8回福島県立橘高等学校合唱団定期演奏会※
7月24日（土）・26日（月）	夏休み子ども映画会
8月5日（木）～8日（日）	第48回福島県吹奏楽コンクール
8月20日（金）	ベンチャーズ　ジャパンツアー2010※
8月21日（土）～22日（日）	TBC・TUFこども音楽コンクール
9月4日（土）～26日（日）	親鸞聖人750回忌「親鸞展」※
9月11日（土）	松竹特別公演～前川清＆藤山直美～※
9月17日（金）	カメルーン国立舞踊団公演※

HP 福島県文化センター　検索

ビッグパレットふくしま

郡山市南二丁目 ☎024(947)8010

会　期	イベント名
7月23日（金）～26日（月）	日本海骨董＆大蔵ざらえ
8月14日（土）～15日（日）	夏を彩るばれっと縁日
8月14日（土）～15日（日）	絵本ワールド in ふくしま
8月28日（土）～29日（日）	24時間テレビ33「愛は地球を救う」
9月18日（土）	安積地区敬老会

HP ビッグパレットふくしま　検索

福島県農業総合センター

郡山市日和田町 ☎024(958)1700

会　期	イベント名
9月3日（金）～4日（土）	農業総合センターまつり（果樹研究所会場：福島市飯坂町）
9月4日（土）～5日（日）	農業総合センターまつり（本部会場）

HP 福島県農業総合センター　検索

※有料のイベントです（他のイベントは入場無料）。
●予定につき内容が変更される場合があります。このほかにもたくさんのイベントが開催されます。

福島県文化財センター白河館 まほろん

白河市白坂一里段86 ☎0248(21)0700

ふくしま森林文化企画展

原始・古代の森と人との共生

縄文時代の石器復元品

◎開催期間：8月29日（日）まで

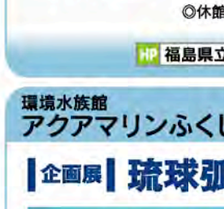
◎観覧料：無料

◎休館日：7月5日（月）、7月12日（月）

HP まほろん　検索

福島県立美術館

福島市森合字西養山1 ☎024(531)5511



©イチハラヒロコ

胸さわぎの夏休み
イチハラ×やなぎ×ヤノベ×小沢＝∞、
美術館で熱くなれ！

◎開催期間：
7月17日（土）～8月29日（日）

◎観覧料：一般・大学生600円
高校生300円
小中学生200円

◎休館日：月曜日（7月19日は開館）、7月20日（火）

HP 福島県立美術館　検索

環境水族館 アクアマリンふくしま

いわき市小名浜字辰巳町50 ☎0246(73)2525

企画展　琉球弧 ～黒潮の島々をめぐる旅 その9～ 辺野古・大浦湾の海

写真提供：ダイビングチーム すなっくスナフキン

◎開催期間：
平成23年5月11日（水）まで

◎入館料：一般・大学生1,600円
高校生・小中学生800円
未就学児無料

◎年中無休

HP アクアマリンふくしま　検索

ゆめクイズ
Present Quiz

檜枝岐村の特産品で、尾瀬の自然水を原料にした水ゼリー「水さやか」が当たる!!

問題

1次・2次・3次産業を融合して、新しい「食」産業を創造するため、県が推進していることは？

地域産業の○次化

○の中に数字を１文字入れてください。（ヒントは3～6ページ）

30名様プレゼント

●応募方法／はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答えと、本誌の中で興味を持った記事やご意見・ご感想などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で30名様に、まろやかな食感の「水さやか」を檜枝岐村産のトチの花から採取したはちみつ付きで差し上げます。

●締め切り／平成22年7月31日（土）当日消印有効

当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

HP 広報ステーション　検索

電子メール yume@pref.fukushima.jp　ファクス 024(521)7901

3個セット（はちみつソース付き）

960-8670
県庁
広報課
「ゆめクイズ」係

クイズの答え

地域産業の○次化

興味を持った記事
ご意見・ご感想
住所　氏名　年齢
職業　電話番号

※ご応募いただいた皆さんの個人情報は、商品発送と「ゆめだより」の記事作成に使用し、それ以外の目的には使用しません。

4月1日号のクイズの正解　（ほっと）する、ふくしま　応募総数2,303件（正解2,289件）

次号（No.227）は10月1日号となります。

編集後記

昨年の編集後記で「食べることは生きることであり、生きることは食べることでもあると感じる今日このごろ」と書きました。生きる基本である「食」が、県内経済や地域の活性化への起爆剤ともなることに、さらに「食」が持つ力の大きさを痛感しています。

「食」に関するキーワードは、「安全安心」「地産地消」などがありますが、これからは「6次化」も重要なキーワード。県内産加工品となることで、県外の人も手に取る機会が増え、「福島はおいしいものがたくさんあるね」と言われるようになったらうれしいですね。私も一人の消費者として、6次化商品を応援します。(E)

うつくしま、ふくしま。

福島県

【編集・発行】福島県広報課
〒960-8670　福島市杉妻町2番16号
☎ 024(521)7014

県の人口（平成22年5月1日現在）

- 男…… 986,431人（前月比　363人増）
- 女…… 1,046,173人（前月比　61人減）
- 合計…… 2,032,604人（前月比　302人増）
- 世帯数… 733,747世帯（前月比2,971世帯増）

この「うつくしまゆめだより」の制作部数は約575,000部で、一部当たりの費用（編集・印刷・発送）は約15円です。県内の各世帯に配布しているほか、県庁県民ホールや最寄りの県地方振興局でも入手できます。

ここから下の段は広告です。広告の内容について詳しくは、広告主にお問い合わせください。

リサイクル適性Ⓐ　この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。　再生紙使用　PRINTED WITH SOY INK　この広報誌は、再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。